

取扱説明書

工事説明付き

カメラ天井埋込金具

品番 WV-Q177

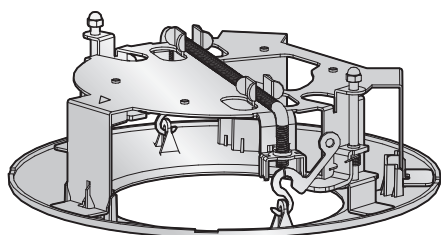
はじめに

工事

その他

もくじ

はじめに	2
安全上のご注意	3
設置上のお願い	5
各部の名前	7
<hr/>	
取り付けかた	8
<hr/>	
仕様	13



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～4ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

はじめに

商品概要

本金具は、当社HDアナログカメラ用の天井埋込金具です。
対応機種は、カタログまたはカメラの取扱説明書をお読みください。
二重天井の石こうボードなど、引き抜き強度が弱い場所に使用できます。
また、カメラ本体の露出部を小さく見せるため、埋込型になっています。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）..... 1冊

以下の付属品は取付工事に使用します。

取付ねじ（M4×8 mm）..... 5本
（うち1本は予備）

天井加工用型紙..... 1枚

飾りカバー 1個

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



禁止

■専用カメラ以外は取り付けない

(落下によるけがや事故の原因となります。)

■塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない

(取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。)

■落とさない、強い衝撃を与えない

(けがや火災の原因となります。)

■ぶら下がらない、足場代わりにしない

(けがや事故の原因となります。)



■工事は販売店に依頼する

(工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。)

⇒必ず販売店に依頼してください。

警告



- **総質量に耐える場所に取り付ける**
(落下や転倒によるけがや事故の原因となります。)
⇒十分な強度に補強してから取り付けてください。
- **定期的に点検する**
(金属やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。)
⇒点検は、販売店に依頼してください。
- **ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける**
(落下によるけがや事故の原因となります。)
- **人がぶつからない高さに取り付ける**
(けがの原因となります。)
- **振動のないところに設置する**
(取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがや事故の原因となります。)
- **設置の説明にしたがって、天井にしっかり取り付ける**
(けがや事故の原因となります。)

注意



禁止

- **金属のエッジで手をこすらない**
(強くこするとけがの原因となります。)

設置上のお願い

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

本金具の設置・接続を始める前に必要な周辺機器やケーブルを確認し、準備してください。接続する前に、カメラ、PCなど接続する機器の電源を切ってください。



警告

工事は必ず販売店に依頼してください。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

設置方法の詳細は本書の取り付けかたを参照してください。

傷害防止のため、この機器は、設置の説明に従って天井にしっかりと取り付ける必要があります。

本金具は屋内専用です

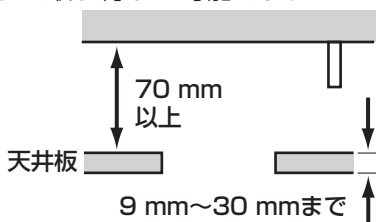
屋外での使用はできません。

長時間直射日光の当たるところや、冷暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴や水沫のかからない状態で使用してください。

本金具を専用カメラ以外で使用しないでください。

カメラの取付場所について

- 設置場所は、カメラ取り付け時の縦質量に十分耐えられる強度を持っていることを確認してから取り付けてください。
- 天井裏が70 mm以上ある場所に設置してください。
- 天井板の厚さは、9 mm～30 mmまで取り付けが可能です。



以下のような場所での設置および使用はできません

- プールなど、薬剤を使用する場所
- ちゅう房などの蒸気や油分の多い場所
- 溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所
- 放射線やX線および強力な電波や磁気の発生する場所
- 海上や海岸通り、および火山地帯・温泉地などの腐食性ガスが発生する場所
- 使用温度範囲(−10℃～+50℃)を超える場所
- 車両、船舶や工場ライン上などの振動の多い場所(本金具は車載用ではありません)
- 雨や水が直接かかる場所(軒下なども含む)
- 湿気やほこりの多い場所
- エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所

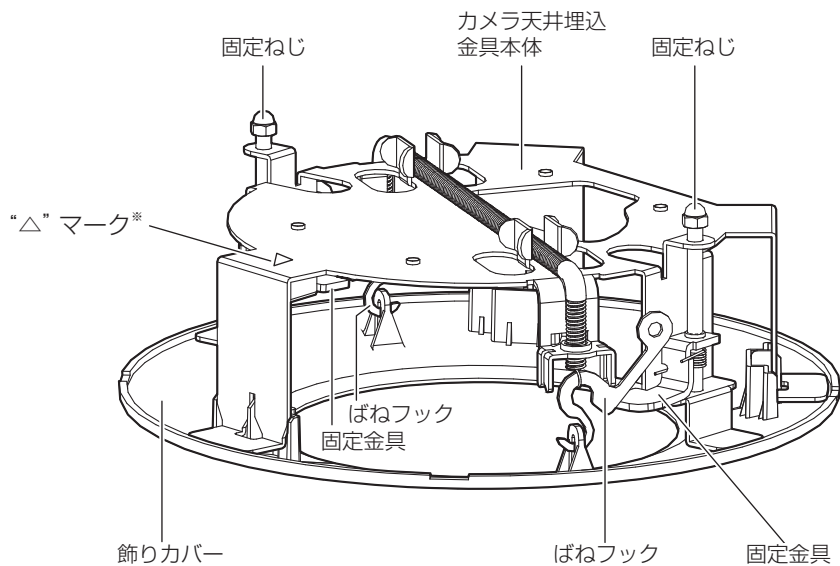
設置上のお願い（つづき）

取付ねじの締め付けについて

- ねじは取付場所の材質や構造物に合わせて、しっかりと締め付けてください。
- インパクトドライバーは使用しないでください。ねじの破損の原因となります。
- ねじはまっすぐ締めてください。締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

本金具を使用しなくなった場合は**放置せず、必ず撤去**してください。

各部の名前



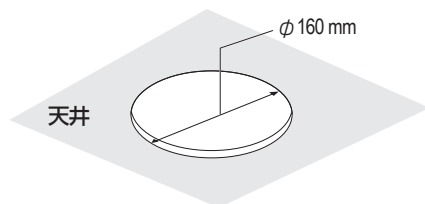
※本金具に刻印されているので、表面・裏面の両方から見る事ができます。

取り付けかた

取り付ける前に、「安全上のご注意」(P.3ページ)「設置上のお願い」(P.5ページ)を必ずお読みください。また、取り付けるカメラの取扱説明書もお読みください。

Step1 専用工具などで天井にφ160 mmの穴をあける

天井加工用型紙(付属品)を天井に当て、取付穴をあけます。

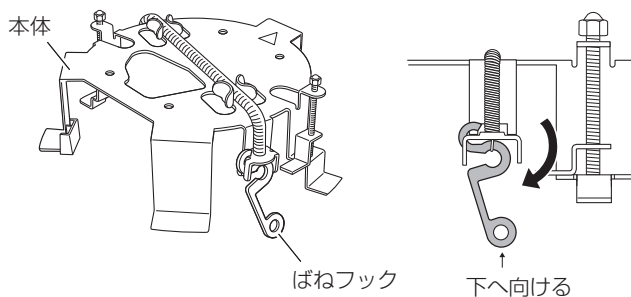


重要

- 穴は正確にあけてください。
大きすぎたり変形しすぎたりした穴は、本金具を天井板に固定している部分が少なくなります。
- 本金具は天井板厚さ9 mm～30 mmまでの天井に取り付けることができます。

Step2 本体のばねフック(2か所)を、下に向ける

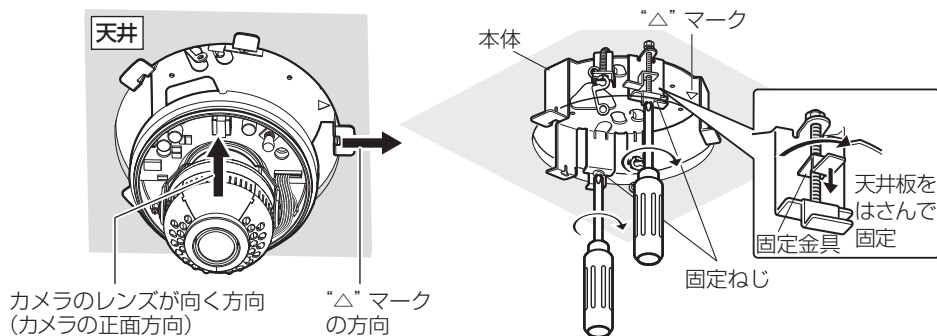
ばねフックを下向きにしないと、埋め込み後、ばねフックが取り出しにくくなります。



Step3 本金具を天井板に固定する

- ① 固定ねじを下から見て反時計回りに回転させ、固定金具の位置を天井板の厚みよりも十分に上げます。(2か所)
- ② 天井からのケーブル類を本金具の底面の穴に通しておきます。
- ③ 設置後、カメラのレンズが向く方向(カメラの正面方向)に対して、本金具の“△”マークが右90°を向くように本金具の向きを合わせて天井の穴に挿入します。(左下イラスト参照)
- ④ 固定ねじを時計回りに回転し、固定金具を下げて天井板をはさみ固定します。(右下イラスト参照)

推奨締付トルク：0.61 N・m {6.0 kgf・cm}



重要

- 天井板が石膏ボードの場合は締め付けたあと、クラック(ひび割れ)などが発生していないことを確認してください。

Step4 カメラにケーブル類を接続する

以下の作業はカメラ本体の取扱説明書 設置編を参照しながら進めてください。

- ① カメラからエンクロージャーを取り外し、インナーカバーをカメラ本体から取り外します。
- ② カメラのズームロックつまみ、フォーカスロックつまみをゆるめてズーム、フォーカスが調整できるようにします。
- ③ カメラのTILTテーブル固定ねじ(両側)を少しゆるめて、カメラの向きを変更できるようにします。
- ④ 天井裏からの同軸ケーブルを先に接続します。

取り付けかた（つづき）

メモ

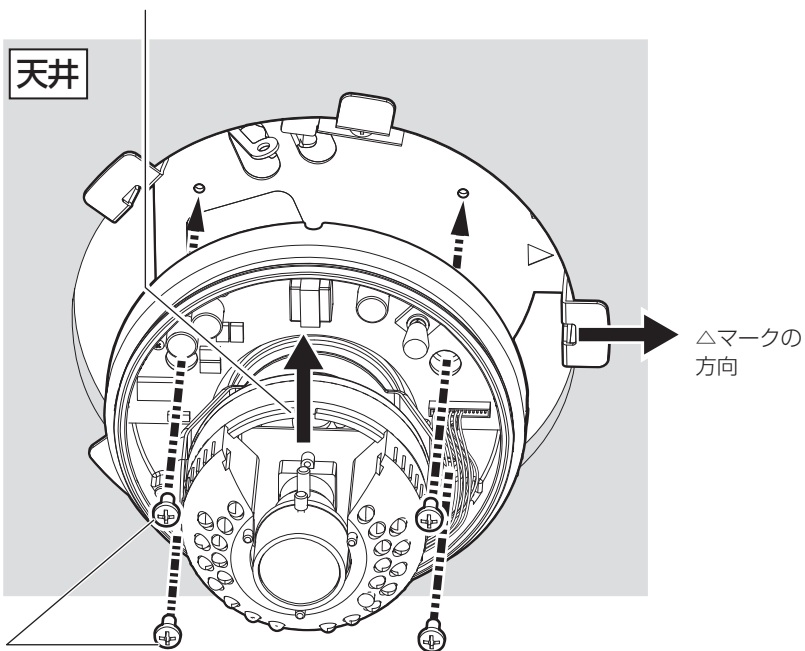
- カメラのTILTテーブル固定ねじ（両側）をゆるめ過ぎないでください。

Step5 カメラを本金具に取り付ける

本金具の内側の“△”マークの方向と、カメラ開口部のセンター方向（画面の上方向）が90°になるようにカメラの向きを合わせて、取付ねじ4本（付属品）で取り付けます。

推奨締付トルク：1.6 N・m {16 kgf・cm}

カメラ開口部のセンター方向
（画面の上方向）



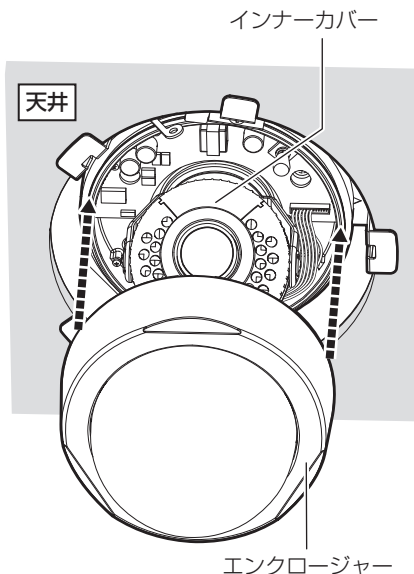
メモ

- 取付ねじ固定部分近くに、カメラの内部配線が通っている場合がありますので、取付ねじで挟み込まないようにしてください。

Step6 カメラの画角を調整し、エンクロージャーを取り付ける

以下の作業はカメラ本体の取扱説明書 設置編を参照しながら進めてください。

- ① カメラのパン、チルト、ズーム、フォーカスなどを調整し、画角を調整します。調整完了後、ズームロックつまみ、フォーカスロックつまみを締めて固定し、インナーカバーを元の位置に取り付けます。
- ② TILTテーブル固定ねじ（両側）をプラスチックドライバーで締め、カメラ部分を固定します。
推奨締付トルク：
0.44 N・m {4.5 kgf・cm}
- ③ エンクロージャーをカメラに取り付けます。

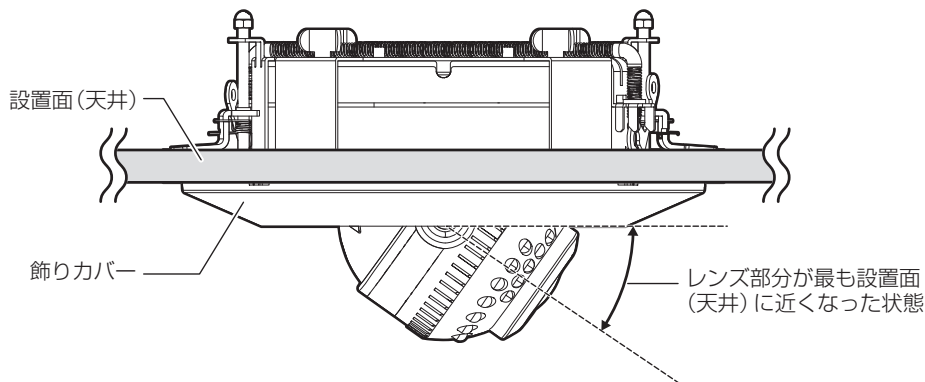


メモ

- エンクロージャーを取り付けるとカメラの調整、取り外しなどが容易にできなくなりますのでご注意ください。

赤外線照明（IR LED）を使用する場合

カメラを設置面（天井）方向に向けると、飾りカバーおよび設置面（天井）からの反射の影響を受けて画面の一部または全体が白っぽく見えることがあります。反射の影響がないように垂直（TILT）角を調整してお使いください。

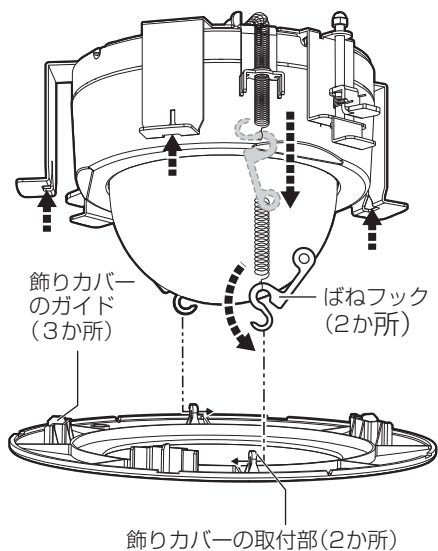


取り付けかた（つづき）

Step7 飾りカバーを取り付ける

ばねフック（2か所）を引き出して、飾りカバーの取付部に引っかけます。
飾りカバーが浮かないように、飾りカバーの3か所のガイドに本金具の溝の部分を合わせて、しっかりと取り付けます。

※カメラと飾りカバーのPanasonicロゴの位置を合わせます。



仕様

使用温度範囲	-10℃~+50℃	
寸法	本体	: ϕ 160 mm × 61 mm (H)
	飾りカバー	: ϕ 186 mm × 15.7 mm (H)
質量	約300 g	
仕上げ	本体	: 亜鉛めっき処理鋼板 シルバーメタリック
	飾りカバー	: ABS樹脂、セイルホワイト

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

「日本エリア」でお使いの場合に限ります。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** パナハヨイワ 受付：9時～17時30分
(土・日・祝祭日は受付のみ)

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニックi-PRO センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号